KP TIMES 7月号

「古着deワクチン」あなたの古着で世界を笑顔に！

家庭から出る不用製品のうち「衣類・服飾品（ブランド品を除く）」は「書籍」に次ぐ第二位。
ネットオークションやフリマアプリの活用、古着回収店舗が増えたことで衣類をリユースする意識は以前と比べて高まっていますが、それでも約6割の不用衣類が自宅・物置等に保管されたままで、残り4割のうち約15％がゴミとして排出されています。

お部屋を片づけることが社会貢献につながる「古着deワクチン」とは？

「古着deワクチン」は、不要な衣類やバッグ、靴、服飾雑貨を送ることで、お部屋を片づけながら、世界の子どもにワクチンを贈ることができるサービスです。

古着を送るための専用回収キットが一口注文される度に、5人分のポリオワクチンが開発途上国の子どもたちへ寄付されます。
さらに、この回収キットの製造・封入・発送については福祉作業所に委託しており、国内の障害者雇用を創出すると同時に、開発途上国に送られた衣類の選別・販売など現地にもビジネスと雇用を創出しています。

古着deワクチン
お部屋と心がスッキリ！

福祉作業所にて
専用回収キットの
製造・封入・発送
（障がい者の方の雇用）

仕分け・選別

開発途上国へ輸出

現地にて選別・販売
（現地の方の雇用）

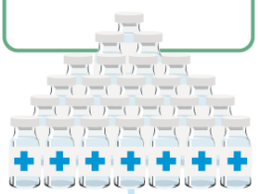
現地売上の一部を
ワクチン寄付

NIHON REUSE SYSTEM
古着deワクチン運営会社
日本リユースシステム

1口につき
5人分のワクチンを
認定NPO法人
世界の子どもにワクチンを
日本委員会に寄付

世界の子どもにワクチンを JCV Japan Committee Vaccines for the World's Children

認定NPO法人
世界の子どもにワクチンを
日本委員会



ミャンマー・ラオス・ブータン・
バヌアツへワクチンを寄付

ポリオワクチンを届けることで、開発途上国の子どもの命を救う。

「古着deワクチン」では、2010年11月の活動開始から2020年6月までに、
累計で20,291,400着分の衣類を再利用し、2,534,173人分の「ポリオワクチン」を寄付しています。
ワクチンは、認定NPO法人「世界の子どもにワクチンを 日本委員会」を通じて主に、ミャンマー、ラオス、ブータン、バヌアツの子どもたちに届けられます。

さらに！

ご購入後、レビューいただくと
1件ごとに1人分のワクチン寄付

ラクに、気持ちよく古着を手放す。

「古着deワクチン」では、利用者が「面倒だ」と感じる作業を全て無くし、
誰でも簡単に古着を送れる仕組みを作りました。
利用者はまず、ネットから専用回収キットを注文します。回収キットが届いたらその中に衣類等を詰め、
専用着払い伝票を貼付し宅配業者に集荷を依頼するだけです。

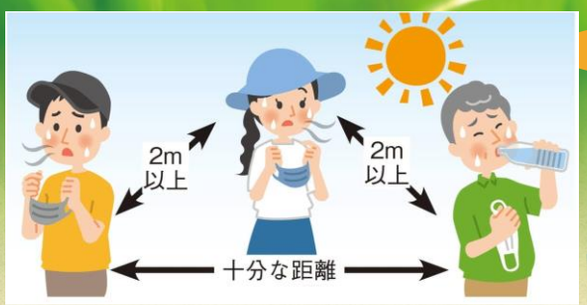
利用者は、古着を廃棄する罪悪感を払拭し、次に誰かに着てもらえることや、子供の命を救うワクチンの寄付につながることで、気持ちよく古着を手放すことができるのです。
現在は、利用者の7割がリピーターとなっています。この機に古着の活用方法について考えてみてはいかがでしょうか。

「新しい生活仕様」における熱中症予防

新型コロナウイルス感染拡大を防ぐため、「新しい生活様式」の中で熱中症対策を考える季節となりました。

飛沫拡散防止のためマスク着用は必須となっておりますが、非着用時と比べると、心拍数や呼吸数、血中二酸化炭素濃度、体感温度が上昇するなど、体に負担がかかることがあります。

高温多湿の環境下でのマスク着用は、熱中症リスクが高くなる恐れがあり、屋外で人と十分な距離(2m以上)が確保できるなら、マスクをはずすことを心掛けるよう厚労省も勧めております。

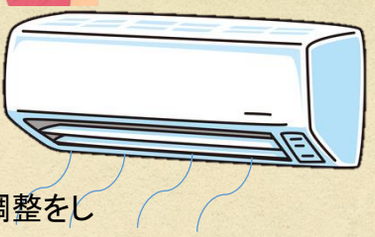


高温多湿の環境下でのマスク着用は・・・

屋外で人と十分な距離(2m以上)が確保できるなら、マスクを**はずすこと**を心掛ける

こまめな**水分補給**をする

エアコンの使用について



熱中症予防には有効なエアコンも、家庭用エアコンは空気を循環させるだけで換気を行っていないとの事です。
冷房中でも・・・ 窓を開放する | 換気扇を回す など喚起をすることが望ましく、それによる室内温度の上昇は否めませんが、設定温度を下げるなどの調整をし熱中症とコロナウイルスに対応しましょう。

カセットガスインバーター発電機

災害時のライフライン確保のために

カセットガスで発電できる

手に入りやすい、長期保存可能なカセットガスでいざというときに備えられます。

アウトドアキャンプ等への使用も可能♬

カセット2本私用で、約1～2時間の発電ができます。

お問い合わせは弊社まで♬

KP TIMESはびわ湖の森の木になる紙を使用しています